

仏在住の画家ルールさん

障害者と共同画を制作



施設利用者と一緒に共同画を仕上げ
るジャネット・ルールさん(右)

きょうから竹田で「現代国際巨匠絵画展」

竹田市の明治小学校跡地にある障害者自立支援施設「華陽会しらゆり」で13日から現代国際巨匠絵画展(大分合同新聞後援)が始まるのを前に12日、フランス在住の画家、ジャネット・ルールさん(68)が同施設を訪れ、施設利用者と一緒に共同画を仕上げた。

田園や浜辺を描いた温かみのある作品は、日本企業のカレンダーにも採用されている。

ルールさんは施設利用者が描いた朝日が昇る富士山に、白を基調とした色を塗り独特の味わいを加えた。施設利用者も笑顔で一緒に作業した。出来上がった作品は絵画展に展示する。同日、ルールさんは、市内の竹田南高校の生徒とも共同

画を制作した。

絵画展は15日まで。ピカソやシャガール、平山郁夫、高山辰雄らの作品の版画、ルールさんの油彩などを展示、販売する。売上金の一部は同施設の運営費に充てられる。入場無料。期間中、ルールさんのサイン会もある。